

環境経営学会 RE委員会・海士町プロジェクト

☆☆ 総括シンポジウム ☆☆

「甦る離島、自然の宝庫 島、海、里山の未来を考える」 — 離島の活性化と再生可能エネルギーの活用 —

東日本大震災以降、再生可能エネルギー（RE）の活用が随所で提言されています。離島や過疎地は、RE資源の宝庫であるにもかかわらず、順調に進んでいるとは言えません。仮に普及したとしても、過疎化が進み「そして誰もいなくなった」というのでは、何のためのRE化かということになってしまいます。

私共「環境経営学会海士町プロジェクト」は、島根県隠岐郡海士町のご協力を得ながら、この4年間「島民のための、島民によるエネルギー自立」の方向性を模索してまいりました。

今回のシンポジウムでは海士町プロジェクトを総括すると共に、基調講演にREや金融の分野で活躍されている末吉竹二郎氏をお招きしました。

また、パネリストには、豊かな自然資源に恵まれた日本の島、海、エネルギーの明日を考えるために、多様な分野の専門家の方々にお集まりいただきました。

2016年1月28日(木) 12:30～16:30 「アルカディア市ヶ谷」私学会館会議室

主催：認定特定非営利活動法人 環境経営学会

共催：特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

助成：三井物産株式会社 三井物産環境基金

～プログラム～

12:00～ 受付

12:30～ 開会 司会：サステナビリティ日本フォーラム事務局次長 阪野 朋子

1. 総括報告 環境経営学会会長、サステナビリティ日本フォーラム代表理事 後藤 敏彦

2. 基調講演

12:45～13:35 「再生可能エネルギーと地域の活性化」

グリーンファイナンス推進機構代表理事 末吉 竹二郎 氏

3. パネルディスカッション

13:45～16:30 「甦る離島、島、海、里山の未来と日本」

【パネリスト】

- ◇ 「ないものはない」島 海士町の挑戦 島根県海士町環境整備課 課長 松前 一孝 氏
- ◇ 「自然と共生する島々」 離島経済新聞 統括編集長 鯨本 あつこ 氏
- ◇ 「海を活かしたまちづくり」 海洋政策研究所 調査部長 古川 恵太 氏
- ◇ 「再生可能エネルギー（自然変動電源）の価値について」
東京電力(株) 経営戦略調査室長 戸田 直樹 氏
- ◇ 「離島の明日と日本の将来」 日本離島センター 専務理事 小島 愛之助 氏

【モデレータ】

- ◇ 環境経営学会理事、RE委員会委員長 青木 修三

【参加方法など】

入場無料。申込み(お名前、連絡先)先着順。 定員(100人)になり次第、締め切らせていただきます。

【事前申込み・問合せ先】

認定特定非営利活動法人環境経営学会

TEL:03-6272-6413 /FAX:03-6272-6414

Email:smf@smf.gr.jp